

第二九六回俳都松山俳句ポスト

第二九六回開函

「渋柿」 主宰 渡邊 孤鷺 選

特選三句

秋深し眉濃く引きし姫だるま

福岡県小郡市 樋口 ひろみ

せめて一句名残りの月よ俳都出づ

静岡県静岡市 山本 定由

つるべおとし風呂の湯温を二度上げる

愛媛県松山市 受川 小百合

入選二十句

(市外)

秋日和おうなの旅はきんざめき

愛知県名古屋市 高木 敦子

露天湯に眺め露けき町あかり

愛知県西尾市 齋藤 朗笛

小春日や杖に不慣れの母に添ふ

北海道札幌市 北原 豊子

ホテルにも俳句ポストや旅涼し

新潟県新潟市 福田 祐明

鰯酒や帰ってこうわい伊予言葉

愛媛県伊予市 福井 恒博

道後の湯浸かり遍路の旅話

埼玉県比企郡小川町 藤間 友二

啜り食う秋鱻香る伊予さつま

大分県玖珠郡玖珠町 大石 慎

つばめ去ぬ坊っちゃん列車に羽を振り

愛知県知立市 清水 孝雄

伊予灘を望む矢狭間や薄もみじ

愛知県名古屋市 小室 ていこ

糸瓜咲く子規絶筆の散らし書き

広島県呉市 児玉 泰子

冬晴や根岸の子規と伊予の子規

千葉県千葉市 香川 陽子

秋晴や定年癒す道後の湯

神奈川県横浜市 下道 昇

トンネルの多き伊予路や蜜柑山

大分県大分市 伊賀上 由佳

(市内)

城山の俳句ポストに秋の風

愛媛県松山市 渡部 昭弘

箒目を乱さず紅葉降りにけり

愛媛県松山市 渡部 秀美

道後の湯桶高鳴りて冬に入る

愛媛県松山市 秦直子

古の道後平野の菫哉

愛媛県松山市 山形久子

山茶花や太子偲びし飛鳥乃湯泉

愛媛県松山市 高須賀 君子

(十五歳以下)

あきがすきみかんにかきにくりごはん

東京都港区 木下 萌々花

セミがなくあさの神社は元気です

愛媛県松山市 森本 好

(伊予灘ものがたり賞)

大漁旗振って伊予灘盛る翁

徳島県名西郡石井町 近久 真知子

投句総数	一、九六五句
市外	一、四八一句
市内	四八四句
投句者総数	一、一八七人
市外	九二九人
市内	二五八人

開函日

令和元年十一月三十日